## 一般質問

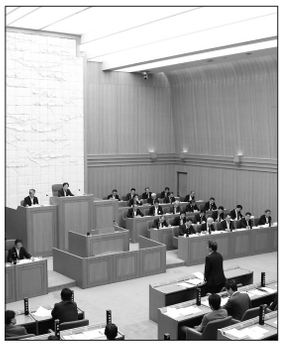
議会基本条例の施行に伴い、議会改革の一環として、多くの議員が質問できるよう、一般質問を毎定例会で行います。

一般質問では、質問の時間（答弁の時間を含む）を会派の所属議員数に応じて配分し、配分された時間内であれば質問者数に制限は設けません。

また、質問・答弁の方式も、初回の質問は※一括質問一括答弁方式で登壇して行い、2回目以降の質問は、※一問一答方式を選択することもでき、議員席最前列中央に新たに設置した質問席で行います。

この定例会では、議案や市政全般について、28人の議員が一般質問（23人が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。


質問席で質問する議員

熊谷 寿人 議員
水曜会

### 4年間を振り返っての市長の思いは

**問** 市長はこの4年間、7つのキーワードに沿って市政のかじ取りをしてきたが、4年間を振り返っての思いは。

**答** 「ふるさと福山」を市民の皆さまに「いつまでも住み続けたい」と思ってもらえる活力あるまちにしていきたいという熱い思いで取り組んできた。この間、市立大学の開学や福山駅前広場整備等に取り組むなど、備後の中核都市にふさわしい都市基盤整備を進めてきた。また、協働のまちづくりを市政運営の柱に位置付け、ばらのまちづくり、高齢者おでかけ支援事業等を行い、住民自治の確立に向けた取り組みを着実に進めることができた。共に汗を流してまちづくりを進めていこうといった機運が醸成されてきたことが、この4年間の最大の成果である。

早川 佳行 議員
水曜会

### ホテルプリンスの火災事案について

**問** ①甚大な被害が起きた大火災の尊い教訓をどのように受け止めているのか。
②本市の建築基準法に基づく定期報告の現状は。

**答** ①安心・安全なまちづくりを重点項目に位置付け取り組んできたが、行政の指導や対応が不十分であったことを大変遺憾に思っており、今回の事態を重く受け止めている。
②映画館、百貨店、老人ホーム、ホテル等の特殊建築物の所有者等は、建築物を定期に一級建築士等の資格者に調査・点検させ、特定行政庁に報告しなければならない。本市には、該当する特殊建築物が260施設あるが、158施設が報告書を提出し、提出率は約60％である。ホテル・旅館は59施設あり、18施設が報告書を提出し、提出率は約30％である。

五阿彌蔓之 議員
水曜会

### 高齢者福祉施策の見通しと対策

**問** 現在、本市の要介護者は約1万4000人。特別養護老人ホームへの入所希望者は約2900人で、順番待ちの状態が続いている。要介護度3以上で入所できない方が約590人、このうち一人暮らしの方が約210人で、切に早期入所を願っている。また、老人保健施設へ入所できても3カ月を目安に在宅での介護を勧められ、困惑している。今後の高齢者のための施設整備の考えと対策は。

**答** 在宅での生活が困難となる高齢者に対しては、入所施設を確保する必要から、140床の地域密着型特別養護老人ホームと、特定施設の一般型を115床、外部サービス利用型を193床整備する。今後とも、在宅サービスとのバランスを図りながら入所施設の整備に努める。

※一括質問一括答弁方式：全ての項目を一括して質問し，一括して答弁する方式。
※一問一答方式：一つの項目ごとに質問し答弁する方式。